

さいたま市

第5号 (平成21年3月)

編集・発行
さいたま市明るい選挙推進協議会
協力
さいたま市選挙管理委員会
さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号
Tel. 048-829-1773

明るい選挙

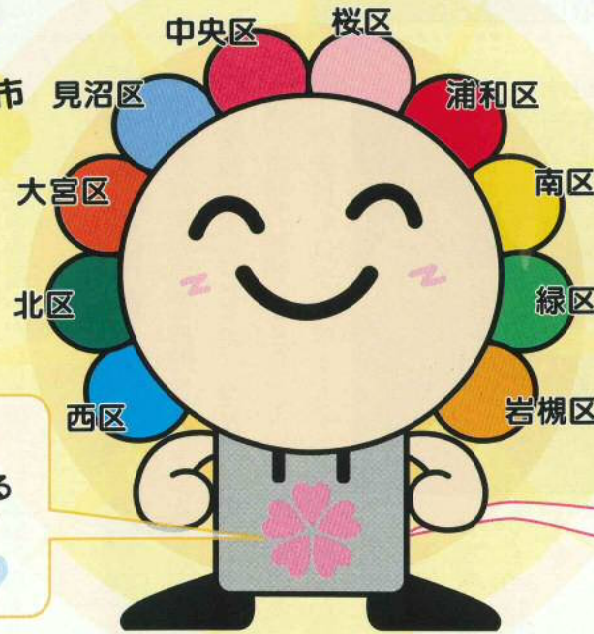
推進協議会たより

さいたま市選挙キャラクター

みらいくん

「選挙に参加してよりよき未来をつかっていこう」という前向きな気持ちを込めて名付けられました。頭部には、さいたま市10区の色を使った「きらめきの玉」が10個付いており、体は市の花「さくらそう」をワンポイントにした「投票箱」をイメージしています。

「きらめきの玉」
各区の色でさいたま市
10区を表現!!



「さくらそう」
ハートが集まっている
デザインの市の花が
ワンポイント!!

「投票箱」
体は投票箱!!
めったに見られない
後姿には、カギがついて
います。



◎特集1 (P2) さいたま市選挙キャラクターみらいくんを紹介します

◎特集2 (P8) さいたま市長選挙が行われます

- ・10区の啓発事例紹介 P3~P6
- ・さいたま市の募集事業 P6~P7

特集2 さいたま市長選挙が行われます

投票日: 5月24日(日) 朝7時~夜8時 告示日: 5月10日(日)

さいたま市長選挙は、さいたま市の将来を託す人を決めるとも大切な選挙です。また私たちの考えを市政に反映する良い機会です。この重要性を十分に認識し、大切な一票を投じましょう。
なお、期日前投票の投票場所等は、以下のとおりです。

	投票場所	投票期間	投票時間
期日前投票所	各区役所	5月11日から5月23日まで	午前8時30分から午後8時まで
臨時期日前投票所	各区選挙管理委員会へお問い合わせください。		

投票所や投票の仕方等については、「選挙のお知らせ」(選挙前に全戸配布)やホームページをご覧ください。お住まいの区の選挙管理委員会へお問い合わせください。

さいたま市・区選挙管理委員会の電話番号・FAX番号

	【電話番号】	【FAX番号】		【電話番号】	【FAX番号】
西区 選挙管理委員会	620-2614	620-2760	桜区 選挙管理委員会	856-6124	856-6270
北区 選挙管理委員会	669-6014	669-6160	浦和区 選挙管理委員会	829-6018	829-6233
大宮区 選挙管理委員会	646-3014	646-3160	南区 選挙管理委員会	844-7124	844-7270
見沼区 選挙管理委員会	681-6014	681-6160	緑区 選挙管理委員会	712-1124	712-1270
中央区 選挙管理委員会	840-6014	840-6160	岩槻区 選挙管理委員会	790-0116	790-0260

さいたま市選挙管理委員会 TEL 829-1773 FAX 829-1994

選挙クイズ

クイズに挑戦しよう!! 皆様のご応募をお待ちしています。正解者には、抽選のうえ20名様に粗品を差し上げます。

Q1

みらいくんの体(投票箱)に描かれている「市の花」は次のうちどれでしょうか?

- ①バラ ②ポピー ③さくらそう ④ひまわり

Q2

さいたま市長選挙の投票日は次のうちどれでしょうか?

- ①平成21年5月23日(土) ②平成21年5月24日(日)
- ③平成21年5月25日(月) ④平成21年5月26日(火)

【応募方法】

はがき、FAX又はEメールに①Q1、Q2の答え(番号)②郵便番号、③住所、④氏名、⑤年齢、⑥お読みになった感想又は選挙に対するご意見を記入し、次のあて先に送付してください。

〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号
さいたま市選挙管理委員会事務局 「選挙クイズ」係
TEL 829-1773 FAX 829-1994
Eメール senkyo@city.saitama.lg.jp

【応募締切】平成21年3月31日(当日消印有効)

※当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

寄附禁止のルールを守って
明るい選挙を実現しましょう。

みんなで徹底しよう 「三ない運動」

政治家は有権者に寄附を
贈らない!

有権者は政治家に寄附を
求めない!

政治家から有権者への寄附は
受け取らない!

さいたま市選挙キャラクター「みらいくん」を紹介します！！

**意外とかわいい！「みらいくん」啓発グッズ
残念ながら非売品です！**



ぬいぐるみ ストラップ 手帳



区民まつりやイベント会場
まで会いに来てね！！

みらいくんの一言

特集 1

誕生日
平成 18 年 12 月 13 日

命名日
平成 19 年 6 月 7 日

体の特徴
身長 約180cm
体重 約8kg
顔が非常に大きいのが特徴のひとつ。

使命
多くのさいたま市民の方が投票に参加してもらうための活動を一生懸命応援していくこと。

こんな活躍をしています
平成 21 年 1 月 12 日の成人式で、年内に執行される市長選挙と衆議院議員選挙の投票呼びかけを行いました。



「明るい選挙推進協議会(明推協)とは？」
明るい選挙(投票率向上、きれいな選挙の実現、政治常識の向上)を推進していく団体です。その目的を実現していくために、さいたま市では、それぞれの区に区明推協が組織されており、その代表者を中心として市明推協が組織されています。平成20年には、若者で構成する青年選挙サポーターの会が発足し、その代表も市明推協のメンバーとして加わりました。現在、市内で950名程度の会員が、日々明るい選挙の推進のため活動しています。

市区合同明るい選挙推進協議会啓発研修会

各区での精力的な活動(p3~p6で紹介)で出て来た成果や課題を共有し、また交流を図ることで、今後の活動をよりよい方向へ発展させるため、毎年1回、合同の研修会を行っています。今年度は、各区明推協や青年選挙サポーターの会員のほか、埼玉大学の学生を招き12月5日に開催されました。



研修会の模様

当日は、活動の共有を図るため、浦和区明推協から組織事例の報告、また中央区明推協から啓発事例の発表の後、「これからの啓発活動の進め方を考える」というテーマでグループワークを行いました。初対面の方がほとんどでしたが、各班に2~3人の大学生が混じり、若者の視点からの活発な意見が加わったことで、各区の参加者には大きな刺激となるとともに、私たちの活動を学生に伝えることもできました。

盛りだくさんの研修内容であったという間でしたが、研修の目的の1つであった「交流」も大いに果たせた実りの多い一日でした。

西区明るい選挙推進協議会

西区明るい選挙推進協議会の活動も今年で5年となりました。今年度は協議会の改選の年でもあり、6月に総会・全体研修会を行い、新しい推進員の皆さんと再スタートを切りました。総会・全体研修会では、明るい選挙の活動目標や西区における若い世代の投票率が低迷している現状を改めて知り、啓発活動を進めていく上で参考となりました。

11月は私たちが毎年参加している恒例の「西区ふれあいまつり」。区内の小・中学生から寄せられた「選挙啓発ポスター」79作品のうち、西区入選作10点の展示を行いました。色鮮やかに描かれた作品からも、子供たちが明るい未来を望んでいること、そのためにも、一人ひとりの票が未来を築く一歩なのだと思いが来場者に伝わったと思います。

また、今年度は市選挙キャラクター「みらいくん」の着ぐるみが登場し、毎年好評の「選挙に行こう」と表示したハート型の風船や啓発品などの配布との相乗効果で、ブースは子供たちやご家族で大盛況でした。おかげで、予定していた時間より早く啓発品が品切れとなり、有意義な啓発活動となりました。私たちの活動により多くの区民の方々が選挙に今まで以上に関心を持ち、投票所へと足を運んでくれることを信じて止みません。子供たちが望む明るい未来へ、私たちの力が少しでも役に立てばと願い、今後も積極的に活動を行って参ります。



広報委員 木澤 よし子

北区明るい選挙推進協議会

昨年度は、選挙が続き推進員の活動が、啓発活動と期日前投票の協力事業が主な活動になってしまいました。今年度は、昨年行ったアンケートの結果と決まった選挙のない事から、推進員の研鑽の年にするべくスタートしました。ところが、夏頃からの衆議院の解散風により、10月10日に予定していた研修会が延期になりました。具体的活動では、「明るい選挙推進ポスター」の募集と、中断していた「北区区民まつり」の参加が、アンケートと推進員の熱意で復活した事です。11月9日、市民の森・見沼グリーンセンターに、明推協の旗の下、推進員・選管委員・事務局の38名が参集し啓発活動を行いました。ブースに、平成20年度明るい選挙推進ポスターの区入選作品10点を展示すると共に、午前と午後の2回、明推協タスキを着用し会場内で、選挙標語入りティッシュ2千個とみらいくんのストラップ2百個を配布しました。区民の反応も上々であったという間に完了しました。社会不安が増大する中、投票率のアップを確認した一日でした。今後も北区明推協は、皆さんのご協力のもと、きれいな選挙・投票参加・政治意識の向上に取り組んでいく所存です。



「北区区民まつり」のブースと啓発活動風景
広報委員 米山 昌治

大宮区明るい選挙推進協議会

去る9月17日、第3回大宮区明るい選挙推進協議会が開催されました。この日は、例年区内在住の小・中学生、高校生を対象に作品の募集を行っている「明るい選挙啓発ポスター」の審査というとても楽しみにしていたのですが、大宮区役所の会議室に着くとなんとびっくり！壁一面に応募された色鮮やかな数々の作品が展示されていました。今年度は、昨年度を上回る123点もの作品が応募されたことで、審査を行った各委員の方々も、うれしい悲鳴をあげながら、一つひとつの作品を熱心にご覧になっていました。

さて、選挙といいますが毎回話題になるのが「投票率」ですが、特に若者の「投票率」の低さが際立っているように感じます。大宮区でも選挙のたびに推進員の方々のご協力を得ながら、啓発活動を行っています。今年度の「明るい選挙啓発ポスター」の数々の作品を見てみると、近い将来「選挙権」を持つこととなる更に若い世代の方々にも、積極的に「選挙」や「政治」に関する啓発を行うことが大切なことではないかと感じました。そしてまた、応募数が年々増えていくのを見てみると、我々の「明るい選挙の推進」に関する活動も着実に実りつつあるのだということが実感できました。

来年度は、私たちの「後継者」から、どんな素敵な作品が応募されるのか、今からとても楽しみです。

広報委員 関 吉彦

見沼区明るい選挙推進協議会

見沼区明るい選挙推進協議会は、今年5年目を迎え、2年任期の最初の年にあたる今年度は、10人の役員を中心として各地区自治会や区内諸団体などから選出していただきました。134人の推進員で活動しています。今年度から初めて推進員となる方が14人中82人いることから、6月11日に行われた全体会では、「明るい選挙とは」「明推協の役割」などの基本的な内容の研修を行いました。

今年度の活動は、省エネルギー運動の一環として行われた「キャンドルナイト」(7月6日)や「見沼区ふれあいフェア」(11月8日)の会場で、選挙啓発グッズやチラシの配布などを行いました。そのほか2月には「選挙啓発ポスター」の区役所内での展示や「推進員全体研修会」を実施しました。

今後は、協議会としての自己研鑽に努めるとともに、選挙管理委員会の皆様と協働して、ターゲットを絞った啓発や投票行動へ直接つながるような効果的な啓発活動を展開していきたいと考えております。

広報委員 金子 行甫



みらいクンと一緒に、ハイ、ポーズ！
(ふれあいフェアでの啓発活動にて)



6月に開催された全体会

中央区明るい選挙推進協議会

当協議会では現在委員12名、推進員107名で活動を行っております。

今年度の活動としては11月の「中央区区民まつり」において啓発活動の一環として区内小学生からご応募いただいた明るい選挙啓発ポスターの展示とさいたま市選挙キャラクター「みらいクン」のぬりえコーナーを設置しました。ぬりえに参加した子供たちには、参加賞としてみらいクングッズの配布も行い、毎年多くの子供たちに喜ばれるコーナーになっています。このコーナーを通して、選挙への関心が低い若年層の保護者に対して啓発が図れたものと思います。

また、この啓発ポスターは、年末にも中央区役所ロビーにて展示し、広く区民のみならずにご覧いただくことができました。

今後執行される選挙においても、引き続き明るい選挙の推進と投票率の向上に努めてまいります。

広報委員 木野 治代



桜区明るい選挙推進協議会

今年度桜区明るい選挙推進協議会は、委員11名と推進員99名の総勢110名となりました。平成16年に自治連合会などの各団体から推薦された、11名で発足した当協議会ですが、選挙の街頭啓発や政治講座で明推協の活動を知り、推進員を引き受けてくださる方が年々増えていきます。

11月8日に行われた区民まつりでは、選挙啓発ポスターの展示と啓発物資の配布を行いました。市入選作をはじめ今年のポスターは力作が多く、来場の方も熱心にご覧になっていました。新委員にとっては初めての啓発活動でしたが、選挙管理委員長と一緒に、会場にお越しの自治会長にもお手伝いいただき、用意した標語入り消しゴムを1時間程で全て配布し、盛況に終わりました。

来年度も区民の皆さんにご協力をいただき、明るい選挙の推進と投票率の向上をめざして活動してまいります。

広報委員 酒井 ハル工



浦和区明るい選挙推進協議会

浦和区明るい選挙推進協議会は、区民の主体意識・政治に対する意識の高揚をはかることにより、明るい選挙を実現し、民主政治の基盤を確立することを目的とします。(規約第2条)

平成20年度の重点目標は、①明推協の本質を確認し、魅力ある事業を精選しよう、②「地区会」のひとりあるきをすすめよう、③地区会は必ず学習から実践活動をしよう、④話し合い集団をつくろう、⑤推進委員の拡大を図ろう、の5項目を掲げています。現在推進委員57名がこの活動に活躍しています。この拠点は区内5地域に組織した5つの地区会です。そこでは各地域の特色を出した地区別集活動やイベント・街頭啓発活動などをそれぞれ展開しています。

今年度は、「選挙制度について考えよう」をテーマに研究会を開催しました。各地区では選挙制度に関するビデオや参考資料を利用して意見交換し学習する研究会に取り組みました。各地区会からは選挙の意義と現状、明推協委員としての自覚と行動の強化など、有意義な意見や指摘事項が抽出されました。明推協活動のさらなる推進を働きかける必要性を感じます。研究会で指摘された事項は、浦和区の明るい選挙推進のためにつなげていきたいと考えています。

専門委員長 田中 興治



研究会



南区明るい選挙推進協議会

平成20年度は、2年に一度行われる明るい選挙推進員の改選の年にあたり、各自治会からご推薦をいただいた205名の方々に、新たに推進員を委嘱いたしました。推進員さんには、各種啓発活動にご参加いただくとともに、選挙時には投票立会人をお引き受けいただくことになっております。皆様の積極的な参加をお願いいたします。

さて、毎年秋に浦和競馬場で行われる「南区ふれあいフェア」での選挙啓発活動は、当協議会最大のイベントですが、参加6年目にして初めて雨天中止となり、選挙管理委員会の方がせっかくな準備していただいた啓発グッズも配らずじまいになってしまいました。特に今回は新たな試みとして、明るい選挙啓発ポスターコンクールに応募のあった作品の中から、南区の優秀作品を用いてティッシュ(写真参照)を作成していただきました。最後に、今年度は、市長選挙と衆議院選挙の少なくとも2つの選挙が行われますので、選挙管理委員会と協力しながら、機会を捉え、明るい選挙の推進と投票率の向上をめざして啓発活動を行ってまいりたいと思っております。

広報委員 峯 光子



ティッシュ図柄

緑区明るい選挙推進協議会

今年度の緑区明るい選挙推進協議会の活動は、5月15日の推進大会からスタートしました。大会後は、来年度からスタートする裁判員制度のビデオ「審理」を参加者で見、自分達が裁判員に選ばれるまでの手続きや裁判員になった時のイメージなどを勉強しました。

昨年は予定された選挙はなかったのですが、秋風と共に解散総選挙風が吹き、そんな中で区民まつりの準備に追われました。啓発グッズを作りながらも、選挙日程の噂に右往左往することもありました。今年度は、大人向け・子ども向けの選挙クイズを用意し、実際の選挙のように投票所で答票用紙に解答を記入し投票箱に入れてもらいました。当日は、開始時間には雨も上がり、大勢の人達が参加して下さいました。投票所には長蛇の列が出来る事もある程でした。このイベントを通して、選挙を身近に感じてもらい、より多くの人に興味を持ってもらう事の重要性を痛感しました。今年度は、市長選挙と衆議院選挙が予定されています。これからも、明るい選挙の実現、投票率の向上をめざして、推進員全員で協力し頑張っていこうと思っております。

広報委員 佐藤 久子



推進大会



区民まつり

平成20年度 第4回さいたま市明るい選挙啓発標語コンクール 入賞作品

さいたま市選挙管理委員会では、選挙に関するイメージや、投票の参加を呼びかける選挙啓発標語を、広く市民の方から募集しました。
第4回においては534点の応募があり、次のとおり入賞作品が決まりました。

【最優秀賞】

標語作品	氏名	住所(学校所在地)	備考
この票が 未来を動かす 鍵となる	堤 萌子	浦和区	市立浦和高1年

【優秀賞】

標語作品	氏名	住所(学校所在地)	備考
どこ行くの? 出掛ける前に まず投票	小野沢 通	緑区	一般
選挙権「めんどくさい」で 捨てないで	井上 美羽	南区	南浦和小6年
築こうよ 明るい社会 投票で	本戸 温美	浦和区	市立浦和高1年

【佳作】

標語作品	氏名	住所(学校所在地)	備考
夢と希望 秘めた力が この一票	伊藤 健司	緑区	一般
その一票 日本の未来の 舵をとる	大橋 拓末	緑区	三室小6年
立ち上がろう あなたが未来を 変える時	君島 健太郎	見沼区	春野中2年
大切な あなたの一票 捨てないで	山田 麻莉子	浦和区	市立浦和高1年
未来へと つながるあなたの その一票	矢部 友紀	浦和区	浦和中2年

※敬称略

皆さんからのたくさんの御応募ありがとうございました。

中学校の部



埼玉栄中2年
小林 杏里



土屋中2年
大河原 楓



柏陽中1年
松本 貴代佳【県入選】



浦和中2年
白岩 みのり



大宮北中3年
郡 絵奏

高等学校の部



市立浦和高2年
秋元 友理【県入選】



大宮工業高3年
新井 翔吾【県入選】



市立浦和高1年
鶴岡 麻衣



市立浦和高2年
高柳 峻秀

岩槻区明るい選挙推進協議会



広報委員 相原 悦子

「岩槻区明るい選挙推進協議会」は、設立から4年目を迎えました。
5月28日に行なわれた総会で新しい会長に、松井洋子さんが選出されました。
昨年は選挙の執行がなかったことから、協議会をより活性化するために設けられた「明るい選挙推進員」の増員をはかり、現在28名となりました。
推進員にも各種研修会に参加してもらいました。
今年度の協議会の活動としては、市・県等の事業への参加、啓発ポスターコンクールの後援などがありました。
また、常時啓発活動としては、11月9日に岩槻文化公園で開催された「岩槻区民やまぶきまつり」におきまして、明るい選挙の推進と投票率の向上に向けて啓発活動を実施いたしました。
今後、推進員の増員をはかるなど組織のより一層の充実をすすめて参りたいと考えております。

平成20年度 明るい選挙啓発ポスターコンクールの結果について

選挙啓発ポスターコンクールは、市内の小学校・中学校・高等学校に在籍している児童・生徒の皆さんに、政治や選挙に対する関心を高めてもらう趣旨で実施しています。
平成20年度は、小学校の部216名、中学校の部397名、高等学校の部12名の計625名の応募がありました。

さいたま市明るい選挙推進協議会・さいたま市青年選挙サポーターが審査を行い、次の14名の作品がさいたま市入選となりました。また、埼玉県審査において、●針ヶ谷小学校1年 渡辺 さくら ●柏陽中学校1年 松本 貴代佳 ●市立浦和高等学校2年 秋元 友理 ●大宮工業高校3年 新井 翔吾の4名の方が入選しました。【※敬称略】

小学校の部



大宮別所小5年
手計 花奈



泰平小4年
秋山 幸樹



大久保東小4年
長山 冬花



植竹小6年
石井 香奈恵



針ヶ谷小1年
渡辺 さくら【県入選】